

平成19年度 中学生海外派遣事業

今年も6人の生徒が姉妹都市オーストラリア・レッドクリフ市に派遣されます

6月17日、「第12回中学生英語暗唱大会」が中央図書館で開催され、市内の中学生21人が日ごろ培った英語暗唱の腕前を披露しました。昨年に引き続き、上位入賞者3人と抽選で選ばれた3人の計6人が、姉妹都市オーストラリア・レッドクリフ市で2週間のホームステイを体験します。

【問い合わせ先】市民活動推進課 (☎82-1134)

●入賞おめでとうございます



▲見事な暗唱を披露した第1位の関さん(中央),第2位の竹内さん(左),第3位の棟久くん(右)

●オーストラリア・レッドクリフ市でホームステイを体験する6人(50音順 敬称略)

宇部フロンティア大学 附属中学校3年	稲本 祐紀
小野田中学校3年	柴田 直也
慶進中学校3年	関 満里奈
高千帆中学校3年	竹内 瑞貴
高千帆中学校3年	藤本 博之
慶進中学校3年	棟久 晃司

【今後の予定】

- ▶ 7月に3回の事前研修を実施
- ▶ 7/30(月) 出発
- ▶ 8/1(水) ホームステイしながら
レッドクリフ州立高校へ
通学,市民と交流など
~12(日)
- ▶ 8/13(月) 帰国

●ホームステイに向けての抱負



●関 満里奈さん(慶進中学校3年)
「生の英語に触れることで、コミュニケーション力を培いたいです。」



●稲本 祐紀くん
(宇部フロンティア大学附属中学校3年)
「レッドクリフ市の人と仲良くなり、日本の文化を伝え、向こうの文化を学んできたいです。」

随行者が決まりました



●福島正朗さん

「高校時代、レッドクリフ市の学生と交流する機会があり、その時からいつかホームステイをしたいと思っていました。レッドクリフ市との国際交流、文化交流に貢献したいです。」

【経歴】海外留学の経験を生かし、平成16年より中学校等で教員として勤務。

小野田青年会議所が派遣事業実施のための募金を寄付しました



▲市長へ要望書を手渡す小野田青年会議所のみなさん

小野田青年会議所が、6月7日市役所を訪れ、今年度の中学生海外派遣事業実施のための費用約166万円と、同事業の継続実施を求める要望書を市長へ手渡しました。この費用は同会議所が4月6日から5月末にかけて、街頭での募金活動、企業への募金箱設置などで募ったものです。財政危機のため実施が危ぶまれていた同事業ですが、次代を担う青少年に海外生活での経験を通して国際感覚を培ってほしいとの主旨に賛同した多くの方、企業のご協力により、例年通りの実施が実現しました。(ご協力いただいた方の一覧は市ホームページに掲載しています。)